

スプレー缶・カセットボンベは 穴をあけずに捨ててください

スプレー缶の捨て方は、以前は缶に穴を開けて排出するように周知していましたが、環境省からの通知や他自治体でのガス引火事故をふまえ、現在は穴を開けないで排出するようにお願いしています。
事故防止や安全の確保のためにも、正しい捨て方をお願いいたします。

捨て方の基本は
「中身を使い切る」「穴をあけない」

①缶を空にする

最後まで使い切ることが大切です。スプレー缶によっては、「ガス抜きキャップ」がついていますので、注意書きに従い使い切ってください。

液体が入っている場合は、大きめのビニール袋の中に新聞紙やトイレットペーパーを入れて、そこに吹き付けて使い切ってください。

※作業は必ず火気のない風通しの良い屋外で行ってください。

※穴をあけしないで出してください。

②中身が使い切れない場合

ノズルが詰まり中身を取り除けない場合については、
環境衛生センター（毒沢）へ直接搬入してください。

③注意したいこと

※古いスプレー缶を処分する際は、安易にガス抜きをせずに、メーカー
にお問い合わせください。

※中身が残ったまま缶に穴を開けてしまうと、中身が噴出し大変危険です
ので絶対に行わないでください。

お問い合わせ

・大石田町役場 まちづくり推進課

☎ 35-1111

・尾花沢市大石田町環境衛生事業組合
環境衛生センター（環境衛生課）

☎ 25-2737